通貨選択型ダイワ先進国リートα

円ヘッジコース（毎月分配型）
通貨セレクトコース（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第108期（決算日　2021年７月13日）
第109期（決算日　2021年８月13日）
第110期（決算日　2021年９月13日）
第111期（決算日　2021年10月13日）
第112期（決算日　2021年11月15日）
第113期（決算日　2021年12月13日）

（作成対象期間　2021年６月15日～2021年12月13日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信（リート）	
信託期間	2012年６月27日～2022年６月13日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	円ヘッジコース（毎月分配型）	イ．ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド（円ヘッジクラス）」の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	通貨セレクトコース（毎月分配型）	イ．ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）」の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。また、第１計算期末には、収益の分配は行ないません。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、リート（不動産投資信託）への投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
ＴＥＬ　０１２０－１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
https://www.daiwa-am.co.jp/

<5735>
<5736>

◇SUZ0573520211213◇

円ヘッジコース（毎月分配型）

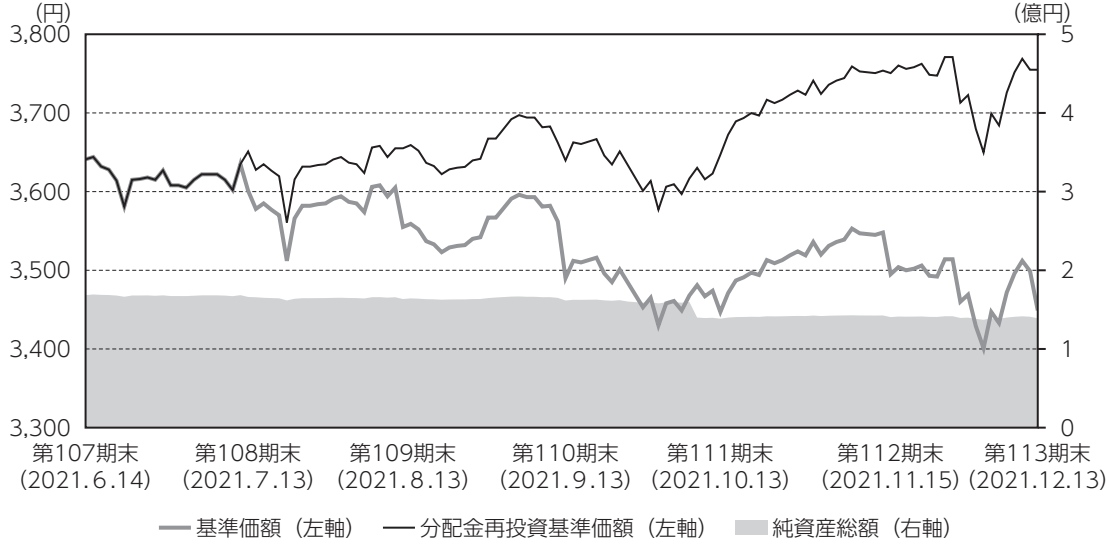
最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S&P先進国REIT指数（現地通貨建て）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
84 期末(2019年 7 月16日)	4,939	80	0.7	20,415	1.6	−	98.5	369
85 期末(2019年 8 月13日)	4,888	50	△ 0.0	20,386	△ 0.1	−	98.5	355
86 期末(2019年 9 月13日)	4,885	50	1.0	20,971	2.9	−	98.3	355
87 期末(2019年10月15日)	4,896	50	1.2	21,434	2.2	−	98.1	367
88 期末(2019年11月13日)	4,714	50	△ 2.7	20,998	△ 2.0	−	98.4	359
89 期末(2019年12月13日)	4,635	50	△ 0.6	20,883	△ 0.5	−	98.4	347
90 期末(2020年 1 月14日)	4,635	50	1.1	21,476	2.8	−	98.6	342
91 期末(2020年 2 月13日)	4,693	50	2.3	22,275	3.7	−	98.4	345
92 期末(2020年 3 月13日)	3,627	50	△21.6	16,895	△24.2	−	97.9	268
93 期末(2020年 4 月13日)	3,572	50	△ 0.1	17,070	1.0	−	98.3	267
94 期末(2020年 5 月13日)	3,336	50	△ 5.2	15,635	△ 8.4	−	98.1	252
95 期末(2020年 6 月15日)	3,493	50	6.2	17,632	12.8	−	98.3	266
96 期末(2020年 7 月13日)	3,443	50	0.0	17,079	△ 3.1	−	98.3	264
97 期末(2020年 8 月13日)	3,533	50	4.1	17,981	5.3	−	98.4	271
98 期末(2020年 9 月14日)	3,425	50	△ 1.6	17,620	△ 2.0	−	98.3	266
99 期末(2020年10月13日)	3,481	50	3.1	18,364	4.2	−	96.1	279
100期末(2020年11月13日)	3,452	50	0.6	18,711	1.9	−	98.0	181
101期末(2020年12月14日)	3,444	50	1.2	18,979	1.4	−	98.1	175
102期末(2021年 1 月13日)	3,399	50	0.1	18,896	△ 0.4	−	98.4	171
103期末(2021年 2 月15日)	3,510	50	4.7	20,210	7.0	−	98.3	178
104期末(2021年 3 月15日)	3,533	50	2.1	20,824	3.0	−	98.2	166
105期末(2021年 4 月13日)	3,552	50	2.0	21,403	2.8	−	98.4	162
106期末(2021年 5 月13日)	3,521	50	0.5	21,610	1.0	−	97.6	162
107期末(2021年 6 月14日)	3,641	50	4.8	23,680	9.6	−	99.4	168
108期末(2021年 7 月13日)	3,601	50	0.3	24,042	1.5	−	98.8	166
109期末(2021年 8 月13日)	3,555	50	0.1	24,066	0.1	−	98.2	163
110期末(2021年 9 月13日)	3,490	50	△ 0.4	24,023	△ 0.2	−	98.4	161
111期末(2021年10月13日)	3,447	50	0.2	23,751	△ 1.1	−	98.4	138
112期末(2021年11月15日)	3,495	50	2.8	25,056	5.5	−	97.9	140
113期末(2021年12月13日)	3,449	50	0.1	25,224	0.7	−	98.4	138

（注１）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注２）Ｓ＆Ｐ先進国ＲＥＩＴ指数（現地通貨建て）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。Ｓ＆Ｐ先進国ＲＥＩＴ指数（現地通貨建て）の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注５）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注６）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第108期首：3,641円
第113期末：3,449円（既払分配金300円）
騰　落　率：3.1%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

リートα・ファンド（円ヘッジクラス）の上昇がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。リートα・ファンド（円ヘッジクラス）については、先進国のリートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、先進国リートが上昇したことがプラスに寄与し、上昇しました。オプション取引はマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※リートα・ファンド（円ヘッジクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

通貨選択型ダイワ先進国リートα　円ヘッジコース（毎月分配型）

	年　月　日	基準価額		S&P先進国REIT指数（現地通貨建て）		公社債組入比率	投資信託証券受益組入比率
			騰落率	(参考指数)	騰落率		
		円	%		%	%	%
第108期	(期首) 2021年6月14日	3,641	−	23,680	−	−	99.4
	6月末	3,608	△0.9	23,225	△1.9	−	99.3
	(期末) 2021年7月13日	3,651	0.3	24,042	1.5	−	98.8
第109期	(期首) 2021年7月13日	3,601	−	24,042	−	−	98.8
	7月末	3,591	△0.3	24,023	△0.1	−	99.3
	(期末) 2021年8月13日	3,605	0.1	24,066	0.1	−	98.2
第110期	(期首) 2021年8月13日	3,555	−	24,066	−	−	98.2
	8月末	3,567	0.3	24,466	1.7	−	98.0
	(期末) 2021年9月13日	3,540	△0.4	24,023	△0.2	−	98.4
第111期	(期首) 2021年9月13日	3,490	−	24,023	−	−	98.4
	9月末	3,465	△0.7	23,563	△1.9	−	99.1
	(期末) 2021年10月13日	3,497	0.2	23,751	△1.1	−	98.4
第112期	(期首) 2021年10月13日	3,447	−	23,751	−	−	98.4
	10月末	3,536	2.6	24,929	5.0	−	98.3
	(期末) 2021年11月15日	3,545	2.8	25,056	5.5	−	97.9
第113期	(期首) 2021年11月15日	3,495	−	25,056	−	−	97.9
	11月末	3,469	△0.7	24,951	△0.4	−	98.4
	(期末) 2021年12月13日	3,499	0.1	25,224	0.7	−	98.4

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について　(2021.6.15～2021.12.13)

■先進国リート市況

先進国リート市況は上昇しました。

先進国リート市況は、当作成期首より、世界的に新型コロナウイルスの感染状況が落ち着く中、経済活動の正常化から景気回復期待が広まったことで、底堅く推移しました。その後、インフレ動向や主要中央銀行の金融政策運営に対する警戒感から長期金利が上昇したほか、新型コロナウイルスの変異株の感染拡大や中国大手不動産会社の経営不安などを受け、一時下落しました。しかし、底堅い企業決算などから景気回復期待が強まったことで、当作成期末にかけて上昇しました。

国別の現地通貨建ての騰落率を見ると、米国やカナダなどが堅調だった一方で、香港やシンガポールが相対的に軟調となりました。現地通貨建てのセクター別では、産業施設や商業施設などが大きく上昇した一方で、ヘルスケアやホテル／リゾートなどは相対的に軟調となりました。

■短期金利市況

日本では、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、短期金利は低位で推移しました。一方、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）は、政策金利の誘導目標レンジを0.00～0.25％で据え置きました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

米国の大規模な財政政策のほか、世界的な新型コロナウイルスワクチンの普及などを受け、米国だけでなく欧州などの主要先進国でも景気回復が見られ始めたことが、今後も先進国リート市場を下支えするとみています。一方で、変異型の感染拡大や早期の金融緩和縮小などがリスク材料として挙げられます。また、一部のセクターでは、感染対策の行動制限が解除されつつある中で、賃料の減免や引き下げが依然として見られており、注意が必要です。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて　(2021.6.15～2021.12.13)

■当ファンド

リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資しました。リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

安定的な配当が見込めて下値抵抗力がある相対的に割安な銘柄を選定し、リートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、住宅のウエートを増やしてオーバーウエートとしたほか、商業施設のオーバーウエートを維持しました。一方で、各種不動産やヘルスケアなどのウエートを引き下げ、アンダーウエートとしています。産業施設は割高なバリュエーションに注意しながらウエートを引き上げ、アンダーウエート幅を縮小しました。国別で見ると、堅調なファンダメンタルズと安定した配当利回りの見通しを背景に米国やカナダのウエートを更に引き上げてオーバーウエートで推移させ、日本やフランスなどのウエートを引き下げてアンダーウエートとし、引き続き香港の非保有を維持しました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

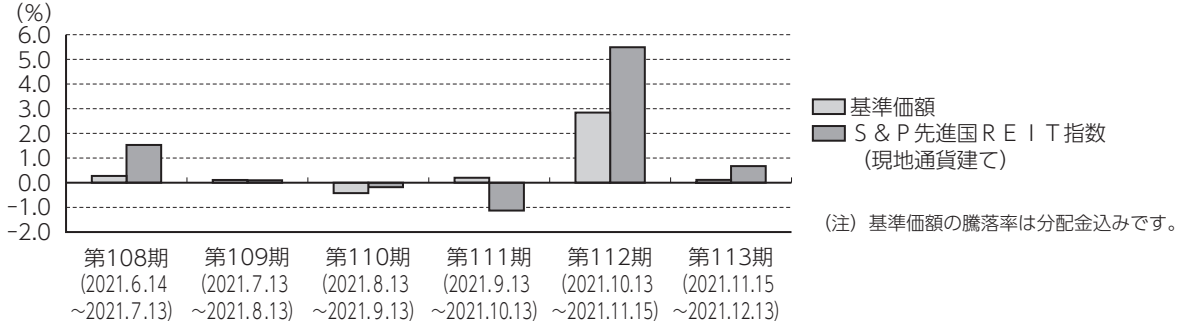
■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目		第108期 2021年6月15日 ～2021年7月13日	第109期 2021年7月14日 ～2021年8月13日	第110期 2021年8月14日 ～2021年9月13日	第111期 2021年9月14日 ～2021年10月13日	第112期 2021年10月14日 ～2021年11月15日	第113期 2021年11月16日 ～2021年12月13日
当期分配金（税込み）（円）		**50**	**50**	**50**	**50**	**50**	**50**
対基準価額比率	(%)	1.37	1.39	1.41	1.43	1.41	1.43
当期の収益	(円)	42	42	36	39	46	37
当期の収益以外	(円)	7	7	13	10	3	12
翌期繰越分配対象額	(円)	700	692	679	669	665	653

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項目	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
(ａ) 経費控除後の配当等収益	✓ 42.66円	✓ 42.65円	✓ 36.84円	✓ 39.62円	✓ 46.11円	✓ 37.96円
(ｂ) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(ｃ) 収益調整金	✓ 707.52	✓ 700.23	✓ 693.07	✓ 679.97	✓ 669.60	✓ 665.71
(ｄ) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(ｅ) 当期分配対象額(ａ＋ｂ＋ｃ＋ｄ)	750.19	742.89	729.92	719.59	715.71	703.68
(ｆ) 分配金	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
(ｇ) 翌期繰越分配対象額(ｅ－ｆ)	700.19	692.89	679.92	669.59	665.71	653.68

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

新型コロナウイルスの感染再拡大を背景にサプライチェーン問題の長期化が懸念されており、インフレ動向が市場のリスク材料になるものの、世界経済は回復基調を維持すると考えています。当該環境下で、先進国リート市場は、コロナ禍の影響を受けたセクターが回復すると想定しており、魅力的な投資機会を提供するとみています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

１万口当りの費用の明細

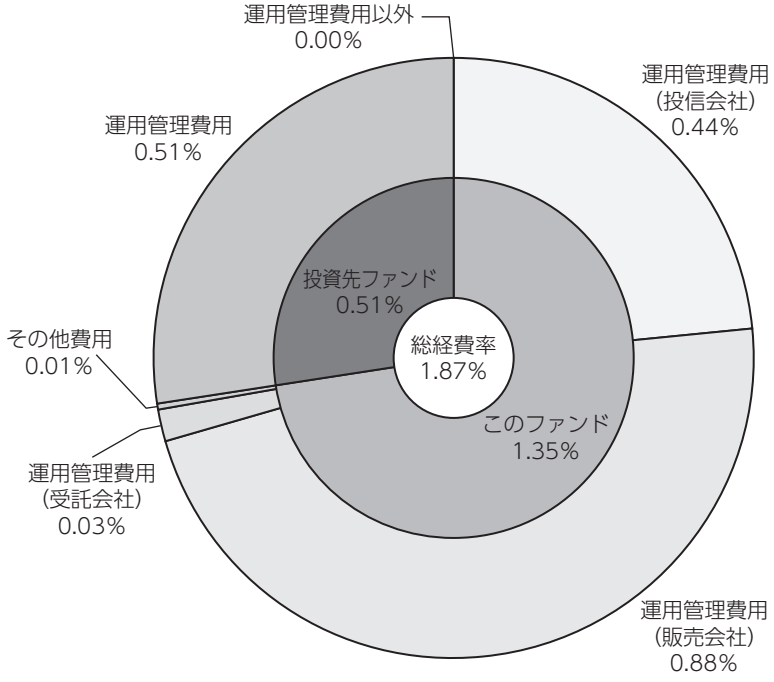
項　　目	第108期～第113期 (2021.6.15～2021.12.13)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	24円	0.672%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は3,538円です。**
（投　信　会　社）	(8)	(0.218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販　売　会　社）	(15)	(0.438)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受　託　会　社）	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ　の　他　費　用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監　査　費　用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　　計	24	0.675	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.87%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.87%
①このファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.51%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

（注１）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2021年6月15日から2021年12月13日まで）

決　算　期	第 108 期 ～ 第 113 期			
	買　　付		売　　付	
	口　数	金　額	口　数	金　額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	389.25095	13,835	1,075.41104	37,885

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注2）金額は受渡し代金。
（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

（2021年6月15日から2021年12月13日まで）

第 108 期 ～ 第 113 期								
買　　付				売　　付				
銘　柄	口　数	金　額	平均単価	銘　柄	口　数	金　額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS（ケイマン諸島）	56.30536	2,000	35	GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS（ケイマン諸島）	1,075.41104	37,885	35

（注1）金額は受渡し代金。
（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 113 期 末		
	口　数	評価額	比　率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券			
（ケイマン諸島）			
GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS	3,856.60219	136,778	98.4

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種　類	第107期末	第 113 期 末	
	口　数	口　数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	399	399	399

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年12月13日現在

項　目	第 113 期 末	
	評価額	比　率
	千円	%
投資信託受益証券	136,778	96.9
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	399	0.3
コール・ローン等、その他	3,958	2.8
投資信託財産総額	141,135	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年7月13日)、(2021年8月13日)、(2021年9月13日)、(2021年10月13日)、(2021年11月15日)、(2021年12月13日)現在

項　　目	第 108 期 末	第 109 期 末	第 110 期 末	第 111 期 末	第 112 期 末	第 113 期 末
(A) 資産	**169,666,932円**	**165,944,270円**	**164,109,334円**	**140,718,575円**	**142,673,817円**	**141,135,696円**
コール・ローン等	5,109,916	5,012,474	4,686,175	3,954,917	4,784,753	3,958,081
投資信託受益証券(評価額)	164,157,574	160,532,394	159,023,757	136,364,256	137,489,702	136,778,253
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	399,442	399,402	399,402	399,402	399,362	399,362
(B) 負債	**3,571,845**	**2,490,579**	**2,507,396**	**2,188,555**	**2,195,509**	**2,166,942**
未払収益分配金	2,306,086	2,298,677	2,315,100	2,009,277	2,009,627	2,014,912
未払解約金	1,084,290	358	－	－	7,068	－
未払信託報酬	180,387	189,316	188,936	174,869	173,362	145,707
その他未払費用	1,082	2,228	3,360	4,409	5,452	6,323
(C) 純資産総額(A－B)	**166,095,087**	**163,453,691**	**161,601,938**	**138,530,020**	**140,478,308**	**138,968,754**
元本	461,217,316	459,735,402	463,020,107	401,855,517	401,925,442	402,982,547
次期繰越損益金	△295,122,229	△296,281,711	△301,418,169	△263,325,497	△261,447,134	△264,013,793
(D) 受益権総口数	**461,217,316口**	**459,735,402口**	**463,020,107口**	**401,855,517口**	**401,925,442口**	**402,982,547口**
1万口当り基準価額(C/D)	**3,601円**	**3,555円**	**3,490円**	**3,447円**	**3,495円**	**3,449円**

＊第107期末における元本額は462,609,377円、当作成期間（第108期～第113期）中における追加設定元本額は13,644,130円、同解約元本額は73,270,960円です。
＊第113期末の計算口数当りの純資産額は3,449円です。
＊第113期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は264,013,793円です。

■損益の状況

第108期　自2021年6月15日　至2021年7月13日
第109期　自2021年7月14日　至2021年8月13日
第110期　自2021年8月14日　至2021年9月13日
第111期　自2021年 9 月14日　至2021年10月13日
第112期　自2021年10月14日　至2021年11月15日
第113期　自2021年11月16日　至2021年12月13日

項　　目	第　108　期	第　109　期	第　110　期	第　111　期	第　112　期	第　113　期
(A) 配当等収益	**2,149,448円**	**2,151,456円**	**1,896,150円**	**1,768,274円**	**1,935,815円**	**1,676,449円**
受取配当金	2,149,468	2,151,511	1,896,224	1,768,338	1,935,880	1,676,516
受取利息	－	1	3	－	－	－
支払利息	△ 20	△ 56	△ 77	△ 64	△ 65	△ 67
(B) 有価証券売買損益	**△ 1,502,408**	**△ 1,768,721**	**△ 2,413,042**	**△ 1,306,278**	**2,172,038**	**△ 1,393,970**
売買益	19,218	15,723	51	368,806	2,175,853	1
売買損	△ 1,521,626	△ 1,784,444	△ 2,413,093	△ 1,675,084	△ 3,815	△ 1,393,971
(C) 信託報酬等	**△ 181,469**	**△ 190,462**	**△ 190,068**	**△ 175,918**	**△ 174,405**	**△ 146,578**
(D) 当期損益金(A+B+C)	**465,571**	**192,273**	**△ 706,960**	**286,078**	**3,933,448**	**135,901**
(E) 前期繰越損益金	**△157,869,576**	**△158,064,352**	**△159,573,407**	**△139,829,505**	**△140,762,977**	**△138,679,713**
(F) 追加信託差損益金	**△135,412,138**	**△136,110,955**	**△138,822,702**	**△121,772,793**	**△122,607,978**	**△123,455,069**
(配当等相当額)	(32,632,373)	(32,192,406)	(32,090,843)	(27,325,029)	(26,912,956)	(26,827,350)
(売買損益相当額)	(△168,044,511)	(△168,303,361)	(△170,913,545)	(△149,097,822)	(△149,520,934)	(△150,282,419)
(G) 合計(D＋E＋F)	**△292,816,143**	**△293,983,034**	**△299,103,069**	**△261,316,220**	**△259,437,507**	**△261,998,881**
(H) 収益分配金	**△ 2,306,086**	**△ 2,298,677**	**△ 2,315,100**	**△ 2,009,277**	**△ 2,009,627**	**△ 2,014,912**
次期繰越損益金(G+H)	**△295,122,229**	**△296,281,711**	**△301,418,169**	**△263,325,497**	**△261,447,134**	**△264,013,793**
追加信託差損益金	△135,750,253	△136,448,651	△139,431,727	△122,189,721	△122,763,980	△123,940,117
(配当等相当額)	(32,294,258)	(31,854,710)	(31,481,818)	(26,908,101)	(26,756,954)	(26,342,302)
(売買損益相当額)	(△168,044,511)	(△168,303,361)	(△170,913,545)	(△149,097,822)	(△149,520,934)	(△150,282,419)
繰越損益金	△159,371,976	△159,833,060	△161,986,442	△141,135,776	△138,683,154	△140,073,676

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第　108　期	第　109　期	第　110　期	第　111　期	第　112　期	第　113　期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,967,971円	1,960,981円	1,706,075円	1,592,349円	1,853,625円	1,529,864円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	32,632,373	32,192,406	32,090,843	27,325,029	26,912,956	26,827,350
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	34,600,344	34,153,387	33,796,918	28,917,378	28,766,581	28,357,214
(f) 分配金	2,306,086	2,298,677	2,315,100	2,009,277	2,009,627	2,014,912
(g) 翌期繰越分配対象額(e−f)	32,294,258	31,854,710	31,481,818	26,908,101	26,756,954	26,342,302
(h) 受益権総口数	461,217,316口	459,735,402口	463,020,107口	401,855,517口	401,925,442口	402,982,547口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ						
	第 108 期	第 109 期	第 110 期	第 111 期	第 112 期	第 113 期
1万口当り分配金	50円	50円	50円	50円	50円	50円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

通貨セレクトコース（毎月分配型）

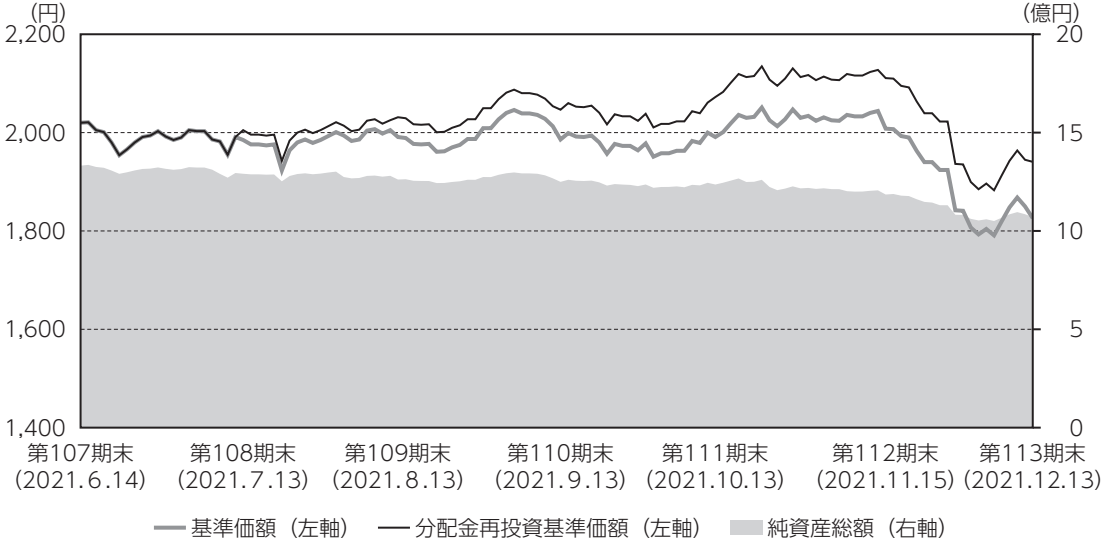
最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S&P先進国REIT指数（現地通貨建て）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
84 期末(2019年 7 月16日)	2,932	50	2.4	20,415	1.6	－	98.3	2,863
85 期末(2019年 8 月13日)	2,815	50	△ 2.3	20,386	△ 0.1	－	98.6	2,720
86 期末(2019年 9 月13日)	2,867	50	3.6	20,971	2.9	－	98.5	2,776
87 期末(2019年10月15日)	2,870	50	1.8	21,434	2.2	－	98.4	2,775
88 期末(2019年11月13日)	2,791	50	△ 1.0	20,998	△ 2.0	－	98.3	2,679
89 期末(2019年12月13日)	2,763	50	0.8	20,883	△ 0.5	－	98.6	2,636
90 期末(2020年 1 月14日)	2,791	50	2.8	21,476	2.8	－	98.8	2,709
91 期末(2020年 2 月13日)	2,794	50	1.9	22,275	3.7	－	97.9	2,269
92 期末(2020年 3 月13日)	1,870	30	△32.0	16,895	△24.2	－	98.0	1,510
93 期末(2020年 4 月13日)	1,827	30	△ 0.7	17,070	1.0	－	98.2	1,471
94 期末(2020年 5 月13日)	1,666	30	△ 7.2	15,635	△ 8.4	－	98.3	1,320
95 期末(2020年 6 月15日)	1,801	30	9.9	17,632	12.8	－	98.4	1,420
96 期末(2020年 7 月13日)	1,772	30	0.1	17,079	△ 3.1	－	98.4	1,377
97 期末(2020年 8 月13日)	1,777	30	2.0	17,981	5.3	－	98.4	1,374
98 期末(2020年 9 月14日)	1,723	30	△ 1.4	17,620	△ 2.0	－	98.5	1,324
99 期末(2020年10月13日)	1,718	30	1.5	18,364	4.2	－	99.2	1,313
100期末(2020年11月13日)	1,731	30	2.5	18,711	1.9	－	98.7	1,316
101期末(2020年12月14日)	1,721	30	1.2	18,979	1.4	－	98.7	1,284
102期末(2021年 1 月13日)	1,734	30	2.5	18,896	△ 0.4	－	98.4	1,287
103期末(2021年 2 月15日)	1,852	30	8.5	20,210	7.0	－	98.6	1,360
104期末(2021年 3 月15日)	1,887	20	3.0	20,824	3.0	－	98.8	1,379
105期末(2021年 4 月13日)	1,871	20	0.2	21,403	2.8	－	98.5	1,333
106期末(2021年 5 月13日)	1,898	20	2.5	21,610	1.0	－	98.5	1,279
107期末(2021年 6 月14日)	2,020	20	7.5	23,680	9.6	－	99.5	1,331
108期末(2021年 7 月13日)	1,985	20	△ 0.7	24,042	1.5	－	98.5	1,290
109期末(2021年 8 月13日)	1,991	20	1.3	24,066	0.1	－	98.6	1,261
110期末(2021年 9 月13日)	1,986	20	0.8	24,023	△ 0.2	－	99.0	1,249
111期末(2021年10月13日)	1,991	20	1.3	23,751	△ 1.1	－	98.8	1,236
112期末(2021年11月15日)	2,008	20	1.9	25,056	5.5	－	98.5	1,185
113期末(2021年12月13日)	1,826	20	△ 8.1	25,224	0.7	－	98.6	1,070

（注１）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注２）Ｓ＆Ｐ先進国ＲＥＩＴ指数（現地通貨建て）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。Ｓ＆Ｐ先進国ＲＥＩＴ指数（現地通貨建て）の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注５）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注６）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第108期首：2,020円
第113期末：1,826円（既払分配金120円）
騰　落　率：△3.9%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）の上昇がプラスに寄与した一方で、選定通貨の下落がマイナス要因となったことで、基準価額は下落しました。リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）については、先進国のリートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を活用した結果、先進国リートが上昇したことや、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラスに寄与した一方で、選定通貨が対円で下落（円高）したことから、下落しました。オプション取引はマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）

通貨選択型ダイワ先進国リートα　通貨セレクトコース（毎月分配型）

	年　月　日	基準価額		S&P先進国REIT指数（現地通貨建て）		公社債組入比率	投資信託証券受益組入比率
			騰落率	(参考指数)	騰落率		
		円	%		%	%	%
第108期	(期首) 2021年6月14日	2,020	−	23,680	−	−	99.5
	6月末	1,985	△1.7	23,225	△1.9	−	99.4
	(期末) 2021年7月13日	2,005	△0.7	24,042	1.5	−	98.5
第109期	(期首) 2021年7月13日	1,985	−	24,042	−	−	98.5
	7月末	1,993	0.4	24,023	△0.1	−	98.5
	(期末) 2021年8月13日	2,011	1.3	24,066	0.1	−	98.6
第110期	(期首) 2021年8月13日	1,991	−	24,066	−	−	98.6
	8月末	2,009	0.9	24,466	1.7	−	98.5
	(期末) 2021年9月13日	2,006	0.8	24,023	△0.2	−	99.0
第111期	(期首) 2021年9月13日	1,986	−	24,023	−	−	99.0
	9月末	1,978	△0.4	23,563	△1.9	−	98.6
	(期末) 2021年10月13日	2,011	1.3	23,751	△1.1	−	98.8
第112期	(期首) 2021年10月13日	1,991	−	23,751	−	−	98.8
	10月末	2,034	2.2	24,929	5.0	−	99.3
	(期末) 2021年11月15日	2,028	1.9	25,056	5.5	−	98.5
第113期	(期首) 2021年11月15日	2,008	−	25,056	−	−	98.5
	11月末	1,841	△8.3	24,951	△0.4	−	99.0
	(期末) 2021年12月13日	1,846	△8.1	25,224	0.7	−	98.6

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について　(2021.6.15～2021.12.13)

■先進国リート市況

先進国リート市況は上昇しました。

先進国リート市況は、当作成期首より、世界的に新型コロナウイルスの感染状況が落ち着く中、経済活動の正常化から景気回復期待が広まったことで、底堅く推移しました。その後、インフレ動向や主要中央銀行の金融政策運営に対する警戒感から長期金利が上昇したほか、新型コロナウイルスの変異株の感染拡大や中国大手不動産会社の経営不安などを受け、一時下落しました。しかし、底堅い企業決算などから景気回復期待が強まったことで、当作成期末にかけて上昇しました。

国別の現地通貨建ての騰落率を見ると、米国やカナダなどが堅調だった一方で、香港やシンガポールが相対的に軟調となりました。現地通貨建てのセクター別では、産業施設や商業施設などが大きく上昇した一方で、ヘルスケアやホテル／リゾートなどは相対的に軟調となりました。

■為替相場

選定通貨※は対円でまちまちな動きとなりました。

当作成期における選定通貨の値動きは、先進国を中心に株価が堅調に推移するなど、市場のリスク選好度が強まったことで、インドネシア・ルピア、ロシア・ルーブル、中国・人民元は対円で上昇（円安）しました。また、インド・ルピーは対円でおおむね横ばいとなりました。一方で、メキシコ・ペソ、トルコ・リラ、ブラジル・レアルは対円で下落しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

■短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。米国では政策金利の誘導目標レンジを0.00～0.25％で据え置きました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）

米国の大規模な財政政策のほか、世界的な新型コロナウイルスワクチンの普及などを受け、米国だけでなく欧州などの主要先進国でも景気回復が見られ始めたことが、今後も先進国リート市場を下支えするとみています。一方で、変異型の感染拡大や早期の金融緩和縮小などがリスク材料として挙げられます。また、一部のセクターでは、感染対策の行動制限が解除されつつある中で、賃料の減免や引き下げが依然として見られており、注意が必要です。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、ＦＴＳＥ世界国債インデックスおよびＪＰモルガン　ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ　ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、６つの通貨を選定します。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて　(2021.6.15～2021.12.13)

■当ファンド

リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資しました。リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）

安定的な配当が見込めて下値抵抗力がある相対的に割安な銘柄を選定し、リートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、住宅のウエートを増やしてオーバーウエートとしたほか、商業施設のオーバーウエートを維持しました。一方で、各種不動産やヘルスケアなどのウエートを引き下げ、アンダーウエートとしています。産業施設は割高なバリュエーションに注意しながらウエートを引き上げ、アンダーウエート幅を縮小しました。国別で見ると、堅調なファンダメンタルズと安定した配

当利回りの見通しを背景に米国やカナダのウエートを更に引き上げてオーバーウエートで推移させ、日本やフランスなどのウエートを引き下げてアンダーウエートとし、引き続き香港の非保有を維持しました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行いました。選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー収益が享受できる通貨を毎月６通貨選定し、運用を行いました。また、選定通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100％を維持しました。

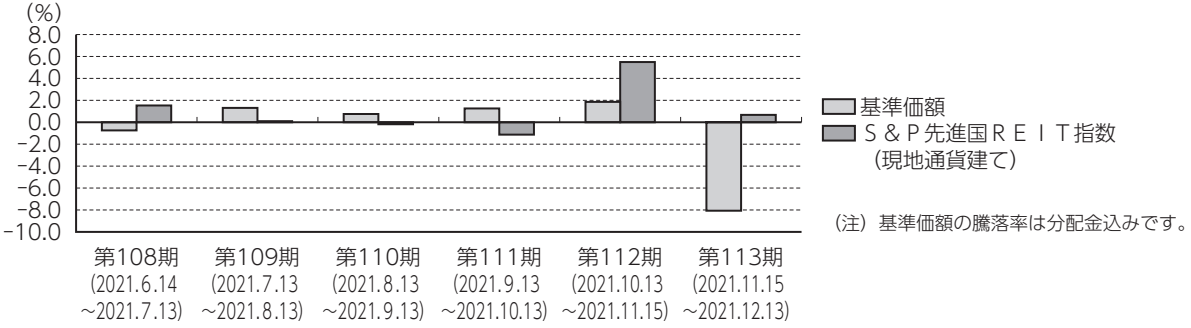
■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目		第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
		2021年6月15日～2021年7月13日	2021年7月14日～2021年8月13日	2021年8月14日～2021年9月13日	2021年9月14日～2021年10月13日	2021年10月14日～2021年11月15日	2021年11月16日～2021年12月13日
当期分配金（税込み）（円）		**20**	**20**	**20**	**20**	**20**	**20**
対基準価額比率	(%)	1.00	0.99	1.00	0.99	0.99	1.08
当期の収益	(円)	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外	(円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	(円)	3,096	3,112	3,129	3,143	3,162	3,180

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
（注４）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項目	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 34.41円	✓ 36.25円	✓ 37.01円	✓ 34.64円	✓ 38.75円	✓ 37.67円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,649.68	2,651.03	2,652.23	2,653.83	2,655.43	2,657.08
(d) 分配準備積立金	431.95	445.02	460.09	475.50	488.57	505.71
(e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d)	3,116.04	3,132.32	3,149.33	3,163.98	3,182.77	3,200.46
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e－f)	3,096.04	3,112.32	3,129.33	3,143.98	3,162.77	3,180.46

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）

新型コロナウイルスの感染再拡大を背景にサプライチェーン問題の長期化が懸念されており、インフレ動向が市場のリスク材料になるものの、世界経済は回復基調を維持すると考えています。当該環境下で、先進国リート市場は、コロナ禍の影響を受けたセクターが回復すると想定しており、魅力的な投資機会を提供するとみています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、ＦＴＳＥ世界国債インデックスおよびＪＰモルガン　ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ　ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、６つの通貨を選定します。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

１万口当りの費用の明細

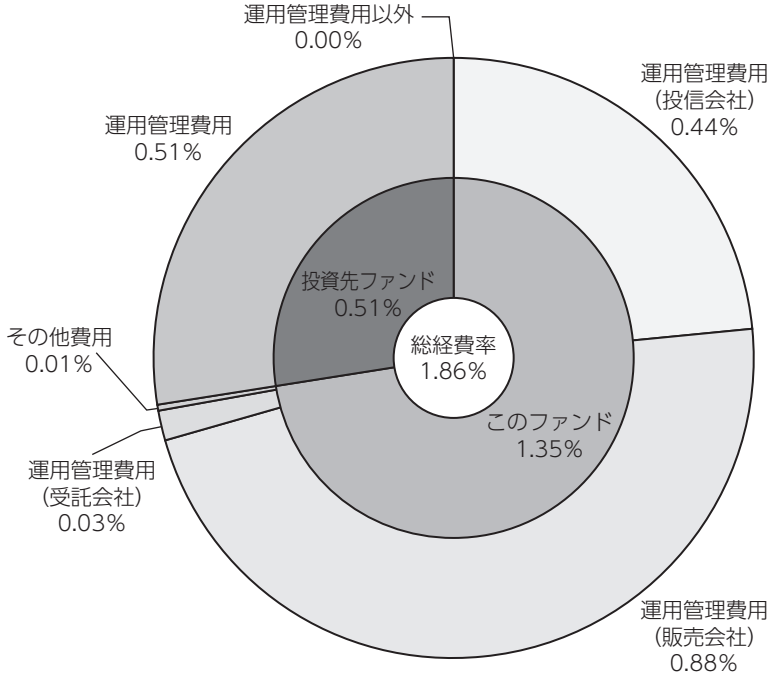
項　　目	第108期～第113期 (2021.6.15～2021.12.13)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	13円	0.671%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は1,977円です。**
（投　信　会　社）	(4)	(0.218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販　売　会　社）	(9)	(0.438)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受　託　会　社）	(0)	(0.015)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ　の　他　費　用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監　査　費　用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　　計	13	0.674	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.86%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.86%
①このファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.51%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

（注１）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2021年6月15日から2021年12月13日まで）

決　算　期	第 108 期 ～ 第 113 期			
	買　　付		売　　付	
	口　数	金　額	口　数	金　額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	7,404.67024	145,358	11,897.43478	237,281

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注2）金額は受渡し代金。
（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

（2021年6月15日から2021年12月13日まで）

第 108 期 ～ 第 113 期							
買　　付				売　　付			
銘　柄	口　数	金　額	平均単価	銘　柄	口　数	金　額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				GLOBAL REIT ALPHA FUND CURRENCY SELECT CLASS（ケイマン諸島）	11,897.43478	237,281	19

（注1）金額は受渡し代金。
（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 113 期 末		
	口　数	評価額	比　率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券			
（ケイマン諸島）			
GLOBAL REIT ALPHA FUND CURRENCY SELECT CLASS	58,750.29927	1,055,331	98.6

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種　類	第107期末	第 113 期 末	
	口　数	口　数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	99	99	99

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年12月13日現在

項　目	第 113 期 末	
	評価額	比　率
	千円	%
投資信託受益証券	1,055,331	97.3
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	29,226	2.7
投資信託財産総額	1,084,657	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年7月13日)、(2021年8月13日)、(2021年9月13日)、(2021年10月13日)、(2021年11月15日)、(2021年12月13日)現在

項　　目	第 108 期 末	第 109 期 末	第 110 期 末	第 111 期 末	第 112 期 末	第 113 期 末
(A) 資産	**1,307,098,738円**	**1,295,886,272円**	**1,273,081,372円**	**1,253,648,220円**	**1,198,611,625円**	**1,084,657,508円**
コール・ローン等	36,023,537	32,639,951	36,051,181	32,352,307	30,925,465	29,226,043
投資信託受益証券(評価額)	1,270,975,341	1,243,206,674	1,236,930,341	1,221,196,063	1,167,586,320	1,055,331,625
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	99,860	99,850	99,850	99,850	99,840	99,840
未収入金	－	19,939,797	－	－	－	－
(B) 負債	**16,355,125**	**34,500,024**	**23,491,784**	**17,598,257**	**13,401,710**	**14,056,568**
未払金	－	9,969,899	－	－	－	－
未払収益分配金	13,002,457	12,668,701	12,585,554	12,413,400	11,806,047	11,726,776
未払解約金	1,935,919	10,369,176	9,422,808	3,773,592	54,543	1,122,812
未払信託報酬	1,408,176	1,474,695	1,456,998	1,376,464	1,497,205	1,156,029
その他未払費用	8,573	17,553	26,424	34,801	43,915	50,951
(C) 純資産総額(A－B)	**1,290,743,613**	**1,261,386,248**	**1,249,589,588**	**1,236,049,963**	**1,185,209,915**	**1,070,600,940**
元本	6,501,228,920	6,334,350,711	6,292,777,485	6,206,700,484	5,903,023,537	5,863,388,449
次期繰越損益金	△5,210,485,307	△5,072,964,463	△5,043,187,897	△4,970,650,521	△4,717,813,622	△4,792,787,509
(D) 受益権総口数	**6,501,228,920口**	**6,334,350,711口**	**6,292,777,485口**	**6,206,700,484口**	**5,903,023,537口**	**5,863,388,449口**
1万口当り基準価額(C／D)	**1,985円**	**1,991円**	**1,986円**	**1,991円**	**2,008円**	**1,826円**

＊第107期末における元本額は6,593,470,265円、当作成期間（第108期～第113期）中における追加設定元本額は119,346,926円、同解約元本額は849,428,742円です。
＊第113期末の計算口数当りの純資産額は1,826円です。
＊第113期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,792,787,509円です。

■損益の状況

第108期　自2021年6月15日　至2021年7月13日
第109期　自2021年7月14日　至2021年8月13日
第110期　自2021年8月14日　至2021年9月13日
第111期　自2021年 9 月14日　至2021年10月13日
第112期　自2021年10月14日　至2021年11月15日
第113期　自2021年11月16日　至2021年12月13日

項　　目	第　108　期	第　109　期	第　110　期	第　111　期	第　112　期	第　113　期
(A) 配当等収益	**23,788,034円**	**24,449,495円**	**24,758,920円**	**22,890,891円**	**24,385,613円**	**23,250,466円**
受取配当金	23,788,444	24,450,499	24,759,587	22,891,297	24,386,363	23,250,985
受取利息	－	35	20	2	8	1
支払利息	△　410	△　1,039	△　687	△　408	△　758	△　520
(B) 有価証券売買損益	**△　31,890,881**	**△　6,524,341**	**△　14,224,738**	**△　5,535,480**	**△　1,454,470**	**△　116,929,363**
売買益	740,708	386,544	33,969	303,978	1,003,752	664,324
売買損	△　32,631,589	△　6,910,885	△　14,258,707	△　5,839,458	△　2,458,222	△　117,593,687
(C) 信託報酬等	**△　1,416,749**	**△　1,483,675**	**△　1,465,869**	**△　1,384,841**	**△　1,506,319**	**△　1,163,065**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**△　9,519,596**	**16,441,479**	**9,068,313**	**15,970,570**	**21,424,824**	**△　94,841,962**
(E) 前期繰越損益金	**△3,906,170,322**	**△3,816,366,039**	**△3,777,782,508**	**△3,717,094,129**	**△3,520,447,841**	**△3,476,101,071**
(F) 追加信託差損益金	**△1,281,792,932**	**△1,260,371,202**	**△1,261,888,148**	**△1,257,113,562**	**△1,206,984,558**	**△1,210,117,700**
(配当等相当額)	(　1,722,620,670)	(　1,679,261,054)	(　1,668,990,354)	(　1,647,153,509)	(　1,567,509,539)	(　1,557,952,861)
(売買損益相当額)	(△3,004,413,602)	(△2,939,632,256)	(△2,930,878,502)	(△2,904,267,071)	(△2,774,494,097)	(△2,768,070,561)
(G) 合計(D＋E＋F)	**△5,197,482,850**	**△5,060,295,762**	**△5,030,602,343**	**△4,958,237,121**	**△4,706,007,575**	**△4,781,060,733**
(H) 収益分配金	**△　13,002,457**	**△　12,668,701**	**△　12,585,554**	**△　12,413,400**	**△　11,806,047**	**△　11,726,776**
次期繰越損益金(G＋H)	**△5,210,485,307**	**△5,072,964,463**	**△5,043,187,897**	**△4,970,650,521**	**△4,717,813,622**	**△4,792,787,509**
追加信託差損益金	△1,281,792,932	△1,260,371,202	△1,261,888,148	△1,257,113,562	△1,206,984,558	△1,210,117,700
(配当等相当額)	(　1,722,620,670)	(　1,679,261,054)	(　1,668,990,354)	(　1,647,153,509)	(　1,567,509,539)	(　1,557,952,861)
(売買損益相当額)	(△3,004,413,602)	(△2,939,632,256)	(△2,930,878,502)	(△2,904,267,071)	(△2,774,494,097)	(△2,768,070,561)
分配準備積立金	290,192,110	292,192,265	300,231,910	304,226,689	299,481,361	306,879,615
繰越損益金	△4,218,884,485	△4,104,785,526	△4,081,531,659	△4,017,763,648	△3,810,310,425	△3,889,549,424

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第 108 期	第 109 期	第 110 期	第 111 期	第 112 期	第 113 期
(a) 経費控除後の配当等収益	22,371,285円	22,965,820円	23,293,051円	21,506,050円	22,879,294円	22,087,401円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,722,620,670	1,679,261,054	1,668,990,354	1,647,153,509	1,567,509,539	1,557,952,861
(d) 分配準備積立金	280,823,282	281,895,146	289,524,413	295,134,039	288,408,114	296,518,990
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	2,025,815,237	1,984,122,020	1,981,807,818	1,963,793,598	1,878,796,947	1,876,559,252
(f) 分配金	13,002,457	12,668,701	12,585,554	12,413,400	11,806,047	11,726,776
(g) 翌期繰越分配対象額(e−f)	2,012,812,780	1,971,453,319	1,969,222,264	1,951,380,198	1,866,990,900	1,864,832,476
(h) 受益権総口数	6,501,228,920口	6,334,350,711口	6,292,777,485口	6,206,700,484口	5,903,023,537口	5,863,388,449口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ						
	第 108 期	第 109 期	第 110 期	第 111 期	第 112 期	第 113 期
1万口当り分配金	20円	20円	20円	20円	20円	20円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド 円ヘッジクラス／通貨セレクトクラス

当ファンド（通貨選択型ダイワ先進国リートα　円ヘッジコース（毎月分配型）／通貨セレクトコース（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド　円ヘッジクラス／通貨セレクトクラス」に投資しておりますが、以下の内容はすべてのクラスを合算しております。

（注）2021年12月13日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

貸借対照表

2021年２月28日

（円）

資産		
担保付スワップ投資の評価額（簿価：　9,670,122,383円）		4,514,514,216
デリバティブ金融商品の評価額		14,591,005
未収利息		825,926
約定未収金		5,000,000
資産合計		**4,534,931,147**
負債		
デリバティブ金融商品の評価額		52,011,313
未払報酬代行会社報酬		825,926
未払解約金		5,000,000
負債合計		**57,837,239**
換金可能受益証券の保有者に帰属する純資産		**4,477,093,908**
次に属する純資産：	ノンヘッジクラス受益証券	934,594,418
	円ヘッジクラス受益証券	2,219,039,862
	通貨セレクトクラス受益証券	1,323,459,628
次に属する発行済受益証券口数：	ノンヘッジクラス受益証券	19,854,222.07
	円ヘッジクラス受益証券	63,841,574.51
	通貨セレクトクラス受益証券	68,911,225.08
次に属する受益証券１口当り純資産額：	ノンヘッジクラス受益証券	47.072
	円ヘッジクラス受益証券	34.758
	通貨セレクトクラス受益証券	19.205

包括利益計算書

2021年２月28日に終了した会計年度

(円)

収益	
時価による損益通算後の金融商品からの収益	
手数料収入	953,327,919
担保付スワップ投資による純損失	(1,389,795,759)
デリバティブの純損失	(19,950,943)
	(456,418,783)
収益合計	**(456,418,783)**
営業費用	25,620,061
営業費用合計	**25,620,061**
営業利益（金融費用控除前および控除後を含む）	(482,038,844)
換金可能受益証券の保有者への分配金	(927,707,858)
分配金支払後の換金可能受益証券の保有者に帰属する純資産の変動	**(1,409,746,702)**

デリバティブ金融商品（為替先渡取引）

2021年２月28日時点での建玉残高

決済日	取引数	受取（評価益）(円)	支払（評価損）(円)	差引評価額 (円)
2021年３月16日	18	7,039,790	(24,822,523)	(17,782,733)
2021年３月24日	23	7,551,215	(27,188,790)	(19,637,575)
評価額合計		**14,591,005**	**(52,011,313)**	**(37,420,308)**

<補足情報>

当ファンド（通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース（毎月分配型）／通貨セレクトコース（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の決算日（2021年12月９日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第113期の決算日（2021年12月13日）現在におけるダイワ・マネーストック・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンドの主要な売買銘柄

2021年６月15日～2021年12月13日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2021年12月13日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

運用報告書　第12期（決算日　2021年12月９日）

（作成対象期間　2020年12月10日～2021年12月９日）

ダイワ・マネーストック・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

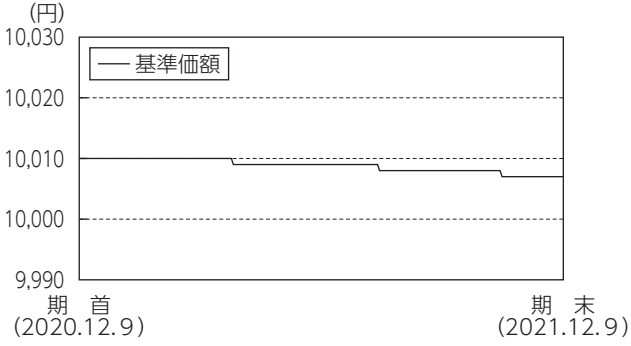
★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運　用　方　針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		公社債組入比率
		騰落率	
	円	%	%
(期首)2020年12月9日	10,010	−	−
12月末	10,010	0.0	−
2021年1月末	10,010	0.0	−
2月末	10,010	0.0	−
3月末	10,010	0.0	−
4月末	10,009	△0.0	−
5月末	10,009	△0.0	−
6月末	10,009	△0.0	−
7月末	10,008	△0.0	−
8月末	10,008	△0.0	−
9月末	10,008	△0.0	−
10月末	10,007	△0.0	−
11月末	10,007	△0.0	−
(期末)2021年12月9日	10,007	△0.0	−

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,010円　期末：10,007円　騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	−円
有価証券取引税	−
その他費用	0
(その他)	(0)
合計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2021年12月9日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	147,987,988	100.0
投資信託財産総額	147,987,988	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年12月９日現在

項目	当期末
(A) 資産	**147,987,988,484円**
コール・ローン等	147,987,988,484
(B) 負債	**210,000,000**
未払解約金	210,000,000
(C) 純資産総額(A－B)	**147,777,988,484**
元本	147,676,216,454
次期繰越損益金	101,772,030
(D) 受益権総口数	**147,676,216,454口**
１万口当り基準価額(C／D)	**10,007円**

＊期首における元本額は88,319,921,795円、当作成期間中における追加設定元本額は176,557,677,368円、同解約元本額は117,201,382,709円です。

＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

日本株ロング・ショート戦略パイロットファンド（適格機関投資家専用）	266,761,115円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド　－ロボテック－	947,268円
ダイワ／ミレーアセット・インド株式ファンド　－インドの匠－	29,910,270円
ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジあり）	998円
ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジなし）	998円
ＵＳ短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり／毎月決算型）	102,434円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド　－ロボテック－（為替ヘッジあり）	39,849円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年１回決算型）－ロボテック（年１回）－（為替ヘッジあり）	3,985円
ｉＦｒｅｅレバレッジ　Ｓ＆Ｐ500	8,293,797,395円
ｉＦｒｅｅレバレッジ　ＮＡＳＤＡＱ100	70,959,132,903円
クリーンテック株式ファンド（資産成長型）	998,802円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド　－ロボテック－（毎月決算／予想分配金提示型）	999円
世界インフラ戦略ファンド（為替ヘッジなし／毎月分配型）	1,000円
世界インフラ戦略ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）	499,501円
ダイワ上場投信－日経平均レバレッジ・インデックス	5,345,339,466円
ダイワ上場投信－日経平均ダブルインバース・インデックス	6,483,785,045円
ダイワ上場投信－ＴＯＰＩＸレバレッジ（２倍）指数	1,334,794,630円
ダイワ上場投信－ＴＯＰＩＸダブルインバース（－２倍）指数	936,360,631円
ダイワ上場投信－日経平均インバース・インデックス	6,676,062,567円
ダイワ上場投信－ＴＯＰＩＸインバース（－１倍）指数	3,084,973,807円
ダイワ上場投信－ＪＰＸ日経400レバレッジ・インデックス	574,295,634円
ダイワ上場投信－ＪＰＸ日経400インバース・インデックス	861,497,868円
ダイワ上場投信－ＪＰＸ日経400ダブルインバース・インデックス	104,920,073円
ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2016－07	997円
ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2016－10	997円
先進国トータルリターン戦略ファンド（リスク抑制型／適格機関投資家専用）	6,988,339,549円
ダイワ日本株式ベア・ファンド（適格機関投資家専用）	101,154,451円
ダイワ日本国債15－20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ　－ＳＬトレード－	301,448,680円
ブルベア・マネー・ポートフォリオ６	16,464,882,107円
ブル３倍日本株ポートフォリオ６	17,685,532,691円
ベア２倍日本株ポートフォリオ６	1,058,922,067円
ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ	89,553,240円
ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ	2,938,475円
通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ　豪ドル・コース（毎月分配型）	595,106円
通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ　ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）	987,373円
通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ　通貨セレクト・コース（毎月分配型）	494,581円
ダイワＵＳ短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり／年１回決算型）	9,957円
ダイワ米国バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）	997円
ダイワ米国バンクローン・オープン（為替ヘッジなし）	997円
ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）	997円
ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）	997円
ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド	9,958,176円
通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）米ドル・コース	10,833円
通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）ブラジル・レアル・コース	10,788円
通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）通貨セレクト・コース	12,751円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年１回決算型）　－ロボテック（年１回）－	100,588円
ダイワ先進国リートα　為替ヘッジあり（毎月分配型）	399,083円
ダイワ先進国リートα　為替ヘッジなし（毎月分配型）	99,771円
通貨選択型ダイワ先進国リートα　円ヘッジコース（毎月分配型）	399,083円
通貨選択型ダイワ先進国リートα　通貨セレクトコース（毎月分配型）	99,771円
ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド（為替ヘッジあり）	1,091,429円
ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド（為替ヘッジなし）	315,004円
ダイワ／ミレーアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド	10,009,811円
ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　日本円・コース（毎月分配型）	398,764円
ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　豪ドル・コース（毎月分配型）	99,691円
ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）	398,764円
ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　米ドル・コース（毎月分配型）	398,764円
ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　通貨セレクト・コース（毎月分配型）	15,402円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイⅡ－　予想分配金提示型　日本円・コース	300,273円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイⅡ－　予想分配金提示型　豪ドル・コース	200,861円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイⅡ－　予想分配金提示型　ブラジル・レアル・コース	300,273円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイⅡ－　予想分配金提示型　米ドル・コース	1,999,177円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイⅡ－　予想分配金提示型　通貨セレクト・コース	505,900円

＊当期末の計算口数当りの純資産額は10,007円です。

■損益の状況

当期　自2020年12月10日　至2021年12月９日

項目	当期
(A) 配当等収益	**△ 31,130,963円**
受取利息	469,134
支払利息	△ 31,600,097
(B) その他費用	**△ 147,839**
(C) 当期損益金(A＋B)	**△ 31,278,802**
(D) 前期繰越損益金	**90,693,506**
(E) 解約差損益金	**△106,126,697**
(F) 追加信託差損益金	**148,484,023**
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	**101,772,030**
次期繰越損益金(G)	**101,772,030**

（注１）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。